

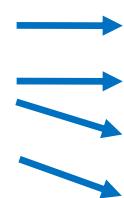
資料の収集・保管

現状

- ・ 収蔵庫の空きスペース7.9% (92.1%が充満)
- ・ 収蔵する資料のうち自然誌資料が87.3%
- ・ 千葉県博物館協会^{※1}による「博物館資料救済ネットワーク」^{※2}の拠点施設

※1 県内の国公立美術館・博物館・動植物園等75館園が加盟する任意団体
 ※2 災害時等に被災施設の収蔵資料を救済するための互助組織

課題



- ・ 収蔵スペースの狭隘化
- ・ 全県的な人文系資料の収集が不十分
- ・ 博物館資料の収集方針の見直し
- ・ 博物館資料を含めた文化財等救済に係る施設連携、MLA連携^{※3}

※3 機能的に似た性格を備える博物館 (Museum)・図書館 (Library)・文書館 (Archives) の連携

調査・研究

現状

- ・ 館の設置目的、専門性(展示テーマ)に基づく調査研究
- ・ 立地する地域に係る調査研究
- ・ 調査・研究成果の保存・活用



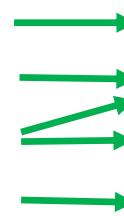
課題

- ・ 市民参画の調査研究体制・制度の確立
- ・ 調査研究の分野・対象地域の拡大
- ・ 研究成果の電子化と公開、県民への還元
- ・ 専門職員のスキルアップと後継職員の育成

展示

現状

- ・ 立地する地域に係るテーマ、資料での展示
- ・ 開館以来、大規模な展示更新は未実施
- ・ 入場者は、高齢者層が多く若年者層が少ない
- ・ 移動美術館^{※4}、周辺地域への出前展示の実施及び山・川・海のフィールドミュージアム^{※5}の実施



課題

- ・ 展示テーマ、展示資料の全県的な広がり
- ・ 県民ニーズに即応した話題性のある展示
- ・ 機器のICT化^{※6}の促進、ホームページの充実
- ・ 実施回数拡大、実施地域の偏りの解消

※4 県立美術館が市町村からの要請に応じて行う出前展示
 ※5 野外の自然や文化財そのものを博物館資料とらえて現地で行う博物館活動

※6 Information Communication Technology : 情報通信技術

教育普及

現状

- ・ 館の設置目的、専門性に関する企画の実施
- ・ 学校団体の博物館利用の減少
- ・ 立地する地域周辺の地域・観光振興を支援



課題

- ・ 県民ニーズに対応した企画の実施
- ・ 学校連携による学習プログラム開発、利用促進
- ・ 支援対象の全県的な広がり

施設・設備

現状

- ・ 専門性、対象地域が異なる複数の施設が点在
- ・ 耐震性の確保、バリアフリー化が必要な施設が存在
- ・ 全館的に施設・設備の老朽化が進行



課題

- ・ 展示テーマ、調査・研究分野において全県下を対象とする施設の機能の強化
- ・ 安全・安心な施設の整備